

「SDGs と子供たち」

今回の紙上インタビューは、山梨県北杜市立長坂小学校の安孫子功実先生にお伺いしました。持続可能な開発目標 (SDGs : Sustainable Development Goals) を扱った授業・活動が皆さまの今後の教育実践の参考になれば幸いです。

Q1) 「小学生にSDGsは難しいかな」と考えてしまいがちですが、どのような取り組みをされたのでしょうか。

ちょうど2年前、我が校に「持続可能な開発目標 (SDGs)」という言葉が入ってきたころに、修学旅行で子供たちと JICA 地球ひろばを訪問しました。体験展示を通して SDGs を知り、自分たちも取り組むべき課題だと感じたことが、SDGs の学習のスタートとしてとても有効でした。その後、総合学習のテーマを「国際理解・国際交流」と設定し、1年間を通して、SDGs を軸に学習を深めていくことにしました。まずは、「知ること」「伝えること」が大切という視点に立ち、視覚要素として SDGs のロゴマークの活用と、具体的なテーマ（「難民の子供たち」：同世代という点がポイントでした）によって、難しさを感じさせないように工夫しながら学習を深めていきました。

修学旅行後、JICA 山梨デスク (※) に紹介いただいた元・青年海外協力隊 (以下、協力隊) の方を通して、ヨルダンに逃れてきたシリア難民の子供たちとの交流を行うことができました。シリアの子供たちは何を喜ぶだろう、と考え、話し合いながらアート作品を送り、教えていただいたアラビア文字で手紙も書きました。シリアの子供たちから、手紙を書いている姿や本校からの手紙を見ている笑顔の写真を手にしたとき、児童の顔は感動に満ちていました。難民キャンプの学校がテントであることなどを知り、自分たちと同じ子供でも、世界ではいろいろな環境の中で生活しているんだなということを実感した瞬間でもありました。数ヶ月に渡って特に「難民」について多くを学ぶ中で、SDGs の目標 1、3、5、8、16 に注目し、話し合いを重ねました。元々は平和に暮らしていた子供たちが、戦争をきっかけに辛い思いをしていることを知り、クラスで「日本にいる自分たちにできることは何だろう」と話し合い、「周りに知らせること」「募金活動をする事」を決めました。まずは、校内の学習発表会で、シリアの子供たちから届いた手紙などを展示し、発表では「世界にはいろいろな子供たちがいることを知ること、子供たちはつらい状況でも笑顔でいること、その子供たちのことを忘れないこと」などを伝えました。また、地域のイベントでも作品展示や自分たちの知ったことを伝え、募金活動を行いました。「シリアの子供たちの力になりたい」と、児童たち自身が主体的に目標をもち、生き生きと活動していました。集まったお金は2月にヨルダンに向かう協力隊の方にお渡ししました。その後、帰って来られた協力隊の方が手紙を持って学校に来てくださり、学用品購入のために使うことになったことなどを詳しく教えてくださいました。1年間の活動の振り返りでは、SDGs のひとつひとつの目標を取り上げ、それぞれの目標に関するこれまでの取り組みを発表し合い、1年間を振り返っての意見交換を行いました。



難民キャンプでシリアの子供たちが手紙を書いている写真が届きました

Q2) SDGs を実践に取り入れるための工夫や、取り組みを通じた児童たちの反応や変化について教えてください。



SDGs のロゴは授業で活用しやすかったです

学習の中で、1時間みっちり SDGs について学ぶことも大切ですが、日々の学習や生活の中で、SDGs の考え方をちょっとずつ絡めていくことが大切だと考えています。SDGs ロゴを常に目にするところにおき、「このことに関連するね」など、子供たちの意識をいろいろな機会でも SDGs につなげていくことも実践しています。そうすることで、子供たちの意識は変化していき、広い視野をもって成長していくのではないかと思います。私たち大人にできることは、伝え考える機会を子供たちと一緒に共有し、また、学級通信などを通して保護者へ発信していくことも大切だと思います。

児童の反応として、作文からの抜粋を紹介します。「ヨルダンに避難している難民の子供たちとの交流を通じ、難民キャンプの生活や勉強などいろいろなことを教えてもらった。話を聞く前は苦しい生活をしていて大変だろうと考えていたが、みんな毎日笑顔で楽しく暮らしていることが伝わってきた。私たちと全然変わらなく遊んだり勉強したりしていることを知り、とても驚いた。最後に協力隊の方は、ヨルダンにいるシリア難民のことを忘れないでいることが一番の支援とおっしゃっていた。私は難民のことを多くの人に伝えるために地域イベント (500 人もの人が来場するイベント) に参加した。充実した一日だった。」(一部抜粋・編集) 子供たちは、SDGs を軸に「知ること」「伝えること」に取り組んだこの学習を通して、たくさんの出会いから学び、自分たちにできることを考え、行動に移すこともできました。持続可能な社会を築くために、次代を担う子供たちと共に SDGs に日々向き合っていくことは私たちの使命だと考えます。

※ 各地域に JICA の窓口があり、「JICA・都道府県名」で検索すると連絡先を検索できます。